

東アジア学会活動記録

【2002年】

◆ 韓日東アジア学会合同研究会

韓国側主催

日時：2002年3月23日（土）9:30～17:00

場所：釜山発展研究院会議場（大韓民国釜山広域市東区凡一洞）

テーマ：『地方から見た日韓交流史』

午前の部

コーディネーター：朴 明欽（釜山発展研究院前任研究委員）・尹 明憲（北九州大学産業社会研究所教授）

報告1. 「朝鮮後期の釜山倭館における経済交流」

金 東哲（釜山大学校史学科教授）

報告2. 「百済と九州」

奥山 忠政（紀前女子大学講師）

報告3. 「朝鮮通信使と永嘉台」

金 英昊（釜山港湾研究会長）

報告4. 「対馬宗家文書について」

鄭 成一（慶應義塾大学客員教授）

報告5. 「雨森芳洲と交隣須知」

蔡 栄姫（釜慶大学校国文科教授）

午後の部

コーディネーター：朴 仁鎬（釜山経済を生かす市民連帯議長）・奥山 忠政（紀全女子大学講師）

報告6. 「東アジアの基軸通貨」

工藤 憲男（西日本経済研究所長）

報告7. 「釜山の世界都市への条件」

朴 仁鎬（釜山経済を生かす市民連帯議長）

報告8. 「一杯のお茶から日韓の生活文化交流の将来を考える」

糸乗 貞喜（株）よかネット）

参加者：日本側 徳島 千穎 日本東アジア学会会長 他10名

韓国側 金 學魯 韓国東アジア学会会長 他15名

◆ 第32回定例研究会

日時：2002年5月18日（土）午後2時～午後4時30分

場所：西南学院大学 2号館8階 大会議室

内容：米朝関係をテーマに講演、引き続き趙鳳彬・筑紫女学園大教授をコーディネーターに討論

講師：ヤン・C・キム（ジョージワシントン大学教授）（日本語による講演）

参加者：43名（一般市民にも公開）

◆ 第33回定例研究会

日時：2002年7月27日（土）午後2時～午後5時

場所：西南学院大学 学術研究所1階 大会議室

講演：「日・中・韓に共通する課題－エネルギー・環境・食料問題－」

講師：金 鳳徳（東北財経大学教授・広島修道大学客員教授）

参加者：12名（一般非公開）

◆ 第12回大会

日時：2002年11月23日（土）午後2時～午後5時、24日（日）午前10時～午後5時

場所：国際東アジア研究センター会議室

パネルディスカッション「朝鮮の「改革・開放」は本物か？」

パネリスト：金 珍基（釜慶大学校教授）

李 相萬（中央大学校教授・民族統一研究所所長）

姜 日天（朝鮮大学校講師・在日本朝鮮社会科学者協会常任理事）

李 南柱（朝鮮問題研究所所長）

コーディネーター：趙 鳳彬（筑紫女学園大学教授）

櫻井 浩（久留米大学教授）

若手研究者研究報告会

報告者：笥 雅貴（九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程1年）

哈日巴拉（ " 2年）

森實 麻子（ " 1年）

コーディネーター：菅 英輝（九州大学大学院比較文化社会研究院教授）

参加者：日本側 徳島 千穎 日本東アジア学会会長 他28名

韓国側 朴 仁鎬 釜山経済を生かす市民連帯 議長 他7名